

新産地造成が進行する

福岡県のメロン

福岡県園芸試験場そ菜栽培研究室長

近藤 雄次

最近のメロン界は、新しい品種の出現や新しい作型の開発により、目ざましい進歩と発展をつけている。

しかし、その究極のねらいは、マスクメロンに代表されるような、高級な品種と病気に強く、作りやすい品種や作型を創造することにある。

福岡県では、パイプハ

ウスのような簡単な施設で、しかも、地床、地這栽培方式という比較的簡易な方法によるマスクメロンの生産に成功し、目下、周年生産を目標に、スローテンポではあるが新産地の造成が進行している。

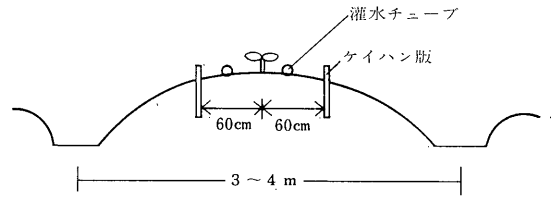
1) 作型と品種

周年出荷を前提とした、は種期と品種の選び方は第1表のとおりである。しかし、12月～4月に出荷する作型は、暖房経費がかさむので、一般には5月～11月の出荷がそのおもなねらいである。

2) 定植床の作り方と栽植方法

第1図に示すように、ウネ巾を3～4mとし、根張りの制限と、水管理ならびに土壌管理を容易にするため、ウネの中央1、2m巾のところ、深さ約33cm前後になるようケイハン板を埋設す

第1図 ウネの作り方



る。ウネは中高のカマボコ状とし、その中央に1条植とする。

苗の植えつけ間隔は、子づる2本仕立の場合は45cm、1本仕立の場合は22.5cmとする

苗は、共台の健脚や強力新土佐2号カボチャ、トウガン(冬瓜)などを台木として、つぎ木育苗し

第1表 FMメロンの作型と品種

作型名	は種期	定植期	交配期	収穫期	適応品種	暖房期間
初夏どり	1月下旬	3月上旬	4月中旬	6月中下旬	FM1号(新土佐2号)健脚	3上～4中
	2月中旬	3月下旬	5月上旬	7月上旬	"(")	
盛夏どり	3月下旬	4月下旬	5月下旬～6月上旬	7月下旬	FM(冬瓜)健脚	
	4月下旬	5月下旬	6月下旬	8月中旬	"(")	
	5月下旬	6月下旬	7月中旬	9月上旬	"(健脚)	
秋どり	6月上旬	7月上旬	7月下旬	9月中旬	"(")	
	6月下旬	7月中旬	8月上旬	9月下旬	FM FM1号(")	
冬どり	7月下旬	8月中旬	9月上旬	11月上旬	FM1号(")	10上～11中
	8月下旬	9月下旬	10月下旬	12月下旬	FM2号(") "4号(新土佐2号)	
春どり	11月下旬	1月上旬	2月下旬	4月下旬	FM5号(")	1上～4上
	12月上旬	1月中旬	3月上旬	5月上旬	FM2号(")	1中～4中
	12月下旬	2月上旬	3月中旬	5月中旬	FM2号(") "3号(健脚)	2上～4中
	1月上旬	2月中旬	3月下旬	5月下旬	FM2号(健脚) 3号(新土佐2号)	2中～4中
	1月中旬	2月下旬	4月上旬	6月上旬	FM2号1号(")	2下～4中

注()は適応合木品種

たものを使用する場合が多い。

ウネ巾4mの場合は完全に地這整枝とし、3mの場合は、ウネの両端に支柱を立て、針金やひもなどを約1m前後の位置に張り、これにつる先を誘引して、ウネ巾の不足を補うようにしている。

3) 施肥および灌水のやり方

管理上の関係から、肥料は、その全量を基肥として施用する。したがって、使用する肥料の種類は緩効性の強いことが条件である。

試験の結果では、CDU

第2表 肥料の種類と生育ならびに収量、品質の比較

試験区	初期生育の比較				収量と品質				
	つる長	葉数	最大葉長	帯化株割合	収果数	総収量	1果平均重	糖度	果皮色
CDU S555	20.6	5.0	15.8	36.7	24	32,484	1353.5	13.6	淡緑
CDU 242	17.4	4.1	15.8	16.7	24	31,920	1330.0	13.9	緑
卵化成	17.8	4.2	15.7	30.6	24	34,212	1425.5	13.0	緑